

令和6年度第1回  
関東地方整備局コンプライアンス・アドバイザリー委員会  
議 事 概 要

- 1 開催日時：令和6年6月19日（水）～ 25日（火）
- 2 開催場所：各委員に個別に資料提示・説明（一部 web 方式）
- 3 委員  
委員長 大野正英 麗澤大学 経済学部 教授  
委 員 政木道夫 シティユーワ法律事務所 弁護士  
〃 三谷和歌子 田辺総合法律事務所 弁護士  
〃 村野昭人 東洋大学 理工学部 教授（web）  
〃 山田務 筑波大学 名誉教授（web）

（委員は五十音順）

4 議 事

令和5年度関東地方整備局コンプライアンス報告書（案）について

【主な意見】

- ・コンプライアンス疲れにならないよう、引き続き配慮を。
- ・職員からの意見を反映して改善していくのは非常に良い。
- ・取組のフォローアップが、不参加者に対して参加させることに限らず、理解度向上についても含めてフォローアップするのが望ましい。
- ・令和6年度に新設した「コンプライアンスの日」のポップアップの取組は非常に良い。マンネリ化しない程度に繰り返すことが大切。

【主な質疑】

| 質 問                                  | 回 答                                                          |
|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 「確実に実施されている」中で「継続」と「継続し拡充を図る」ものの違いは。 | 巡回コンプライアンス講習会等で出された意見を反映したもの。今回単に「継続」としているものも、今後改善していく可能性あり。 |
| 各所属独自の取組について、横展開等はしているのか。            | 良いものは参考事例としてイントラネット等で紹介したり、次年度の推進計画に反映させたりしている。              |
| 「公務員倫理の徹底」を令和6年度から新規項目とした経緯は。        | 関連する他の取組の中で従前から公務員倫理については実施されているが、推進計画に記載が無かったため反映させたもの。     |

以上